

各位

会社名 株式会社TSIホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 下地 毅  
 (東証プライム市場 コード番号 3608)  
 問合せ先 経営戦略部 財務広報 IR 課 長谷川 俊介  
 TEL 03(5785)6400

**2026年2月期 第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は直近の動向を踏まえ、2025年4月11日に公表しました2026年2月期 第2四半期（中間期）連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

**1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）連結業績予想の修正について  
 （2025年3月1日～2025年8月31日）**

（1）修正の内容

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	71,000	1,000	1,150	800	11.52円
実績値（B）	66,167	640	1,333	1,313	19.57円
増減額（B－A）	△4,832	△359	183	513	
増減率（％）	△6.8	△36.0	15.9	64.2	
（ご参考）前期実績 （2025年2月期 第2四半期）	75,230	△221	△167	△791	—

（2）修正の理由について

売上高は、主力ブランドにおける新規顧客獲得の苦戦や、自社ECサイト「mix.tokyo」リニューアルに伴う顧客基盤移行の遅れ、7月以降のインバウンド需要の伸び悩みなどにより、当初計画を下回りました。

前期より進めている収益構造改革により、仕入原価率の低減や過年度在庫の圧縮が進み、売上総利益率は改善したものの、売上高の減少影響が大きく、売上総利益額も計画を下回っております。

また、広告宣伝費や物流費、本部費の抑制を通じて販管費削減に努めましたが、売上総利益の減少に伴い、営業利益は当初計画に比べて約3億59百万円の減少となる見込みです。

営業外損益では、前期計上した持分法投資損失が今期は利益に転じたことや、為替差損の減少などにより、経常利益は計画に対して1億83百万円の増加となる見込みです。

特別損益において、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益を6億18百万円計上（前期差1億51百万円増）した一方で、国内事業子会社の株式譲渡による関係会社整理損を4億86百万円計上しました。

また、法人税・住民税・事業税および法人税等調整額が5億25百万円減少したことで、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、5億13百万円増の13億13百万円となる見込みです。

なお、2025年7月14日に公表しました、新たに連結する株式会社デイトナ・インターナショナルの業績影響は算定中につき、通期連結業績予想は据え置いております。連結業績に与える影響額が確定次第、速やかに公表いたします。

2026年2月期第2四半期（中間期）決算の発表は、2025年10月14日（火）の予定です。

以 上